

1. 件名：「川内原子力発電所 1, 2号炉の地震等に係る新基準適合性審査
（標準応答スペクトルの規制への取り入れに係る変更）に関する事
業者ヒアリング（18）」

2. 日時：令和5年7月12日（水） 10時00分～11時55分

3. 場所：原子力規制庁9階耐震会議室

4. 出席者（※：テレビ会議システムによる出席）

原子力規制庁：名倉安全規制調整官、谷主任安全審査官、鈴木安全審査専
門職、井清係員、田島主任技術研究調査官※

九州電力株式会社：テクニカルソリューション統括本部 土木建築本部
執行役員 赤司副本部長 他7名

（このうち3名はテレビ会議システムによる出席）

5. 自動文字起こし結果

別紙のとおり

※音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

6. 提出資料

- ・川内原子力発電所1号炉及び2号炉 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価における地下構造モデルの設定について
- ・川内原子力発電所1号炉及び2号炉 標準応答スペクトルを考慮した地震動評価における模擬地震動の作成及び基準地震動の策定について

時間	自動文字起こし結果
00:00:04	を、
00:00:05	はい。規制庁地震津波審査部門の鈴木です。それでは時間になりましたので、今から九州電力川内 12 号の、
00:00:13	標準応答スペクトルを考慮した地震動を地震動の策定基準指針の策定です。このヒアリングを始めたいと思います。資料は本日付で、今言った模擬地震作成基準地震動の策定についてという
00:00:27	点と、あとは前回地下構造のモデルのですね、会合の方で 2 点ほど、
00:00:33	コメントをしておりますので、地下構造モデルの設定についてということで、2 点の資料ですね、本日提出がありましたのでまずこれについて九州電力から説明をお願いします。
00:00:47	九州電力の野々村です。本日はよろしく申し上げます。先ほど資料のご確認いただきましたけれども、PPS30 と TBS31 の資料をご説明させていただきます。
00:00:59	説明の流れとしてはまず、TTS 三重の模擬地震は、基準地震動策定の資料をご説明した後、TPS31 の地下構造モデルの取りまとめ資料についてご説明させていただこうかと考えており、
00:01:11	ます。
00:01:13	まず、衛藤 TTS 参事の方からご説明させていただきますけれども、1 ページの目次に沿ってご説明させていただきます。
00:01:21	3 ページから 5 ページがコメントリストになっておりまして No. 4、No. 10 について本資料でご説明させていただきます。
00:01:30	5 ページにあります、ナンバー 21 については追って TTS31 にて説明させていただきます。
00:01:37	続きまして 6 ページをお願いします。
00:01:42	6 ページはコメント 4 及びコメント 10 の回答の概要をご説明したのになります。ナンバー 10 の欄水槽を用いた模擬地震はの作成作成における、
00:01:54	継続時間の設定につきましては、第 1097 回審査会合におきまして LAN 水槽を用いた地震は、の作成については、土台達による方法を採用することとし継続時間が長めに設定されるよう、
00:02:07	保守的に M7 として設定することをご説明しておりますけれども、本日はその補正方針に基づく乱水槽を用いた模擬地震作成結果についてご説明します。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:02:18	同様にナンバー4につきましても 1097 回審査会合で、LAN 水槽を用いた模擬地震は及び観測位相を用いた模擬地震はについて、解放基盤表面の模擬地震、地震はを作成し、
00:02:31	時刻歴は形及び応答スペクトルについて比較検討した上で、標準応答スペクトルを考慮した地震動評価に用いる模擬地震は、を設定することを説明し確認いただいておりますので、
00:02:42	本日は、その方針にして、沿った説明として、最終的に断水層を用いた模擬地震は、の方を設定選定しておりますので、
00:02:53	その内容についてご説明させていただきます。
00:02:57	7 ページに審査スケジュールを示しております。
00:03:00	剤、前回会合を踏まえまして今回 Ts311 の地下構造モデルの審査資料に資料追加を行いますのでスケジュールに追加しておりますけれども、
00:03:11	その他のスケジュールに変更点はありません。
00:03:15	それでは模擬地震版の作成方法に沿った作成結果について順次ご説明させていただきます。9 ページをお願いします。
00:03:23	9 ページは模擬地震は作成方針を示しております。審査ガイドに基づき複数の方法、具体的には LAN 水槽を用いて模擬地震後、観測室を用いた模擬地震は 2 種類の模擬地震を作成し、
00:03:36	比較検討した上で標準応答スペクトルを考慮した、地震動評価に用いる模擬地震を設定する方針としております。こちらは以前ご説明した方針から変更はございません。10 ページをお願いします。
00:03:52	10 ページでは、実用発電用後、及びその附属施設の位置、構造及び設備の基準に関する規則の解釈の標準応答スペクトルに適合するように、
00:04:03	地震基盤相当面の模擬地震を作成する旨を記載してございます。
00:04:07	こちらは 1097 回会合でご説明した方針の変更はございません。なお、こちらの LAN 水槽観測位相による模擬地震版につきましても日本電機協会 2015 の、
00:04:19	判定基準を満足することを確認しております。続きまして 11 ページをお願いします。
00:04:26	11 ページから具体的な模擬地震はの作成についてのご説明となっております。まず、LAN 水槽を用いた文字版はの作成について記載しておりますけれども、
00:04:36	こちらでも 1097 回の会合から方針の変更はございません。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:04:43	夏井層を用いた模擬地震版につきましては野添達の振幅包絡線による経時的变化を採用しております。振幅包絡線の設定条件であります。ありますマグニチュードにつきましては、
00:04:55	全国共通に考慮すべき地震動の地震規模は審査会の会議審査ガイドで、梅田部 6.5 程度未満と幅を持ちますので、経験式から換算すると、M6.9 となる。
00:05:08	マグニチュード M7 とすることで継続時間が長くなるように保守的に定め、模擬地震はを作成する方針としております。
00:05:17	今回その方針に基づく模擬地震の検討結果を次ページから示しております。12 ページをお願いします。
00:05:26	こちらは 11 ページの方針に基づき作成した水槽を用いた模擬地震版のうち、水平方向成分について示しております。真ん中右の表に記載の通り、作成した模擬地震版について、
00:05:38	日本電機評価に示される的コードの条件を満足しているということを確認してございます。
00:05:44	13 ページをお願いします。
00:05:47	こちらは水平方向と同様に、鉛直方向成分についても確認をしてございます。
00:05:54	14 ページをお願いします。
00:05:59	ホームページから、二つの方法のうちもう一つの観測率を用いた模擬地震の作成について説明をしてございます。こちら 1097 回の会合の方針から変更はございません。
00:06:12	川内原子力発電所の敷地地盤の鉛直アレイの地震観測点を示しておりますけれども、本検討では EL11 メーターの観測記録を用います。
00:06:21	続きまして 15 ページをお願いします。
00:06:26	こちらに衛藤川内原子力発電所敷地の地震観測記録の選定フローを示してございます。
00:06:32	観測記録の選定フローも方針に変更はございませんけれども、改めて簡単にご説明させていただきます。
00:06:39	収集条件 1 の通り全国共通に考慮すべき地震動の規模を参考に、対象の地震規模 M5 以上、M7 以上以下としてございます。
00:06:49	信用距離につきましては収集条件に示す通り、震源近傍を想定し、川内原子力発電所から 30 キロ以内として 30 キロ以内に記録がない場合は、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:07:00	震央距離を拡大しできるだけ距離の近い記録を収集するものとしております。
00:07:05	収集の結果記録が複数ある場合は、観測記録を二つのステップで選定し、最初のステップ1では、最大加速度が3成分10Gal以上、
00:07:16	続いて、ステップ2では震源を特定せず作成、策定する地震動として、敷地近傍の震源伝播サイト特性の反映及び主要動の継続時間を考慮する観点から、
00:07:27	震央距離の近い記録、それから最大活動度が大きい記録、主要動の継続時間が長い記録を選定いたします。
00:07:36	以上ご説明したような、今回の検討においてとり得る検討フローを灰色の矢印で示しております、衛藤青色の線を示しておりますけれども、こちらが実際に辿ったフローを示しております。
00:07:49	16ページをお願いします。
00:07:53	こちらは衛藤1097回の会合でご説明した内容にもなりますけれども、地震観測記録の収集の結果、川内原子力発電所において、マグニチュード5以上、震央距離30キロ以内に、の条件に合致する。
00:08:07	新記録が6地震ありまして、6地震の観測記録から、1997年の3月と、5月の鹿児島県北西部地震の本震。
00:08:18	それから4月の余震の3地震を抽出し、抽出してございます。
00:08:23	17ページをお願いします。
00:08:26	ここでは前のページで抽出した3地震から観測位相を用いた模擬地震はの作成に用いる観測記録を選定しております。三つの地震観測記録について震央距離、最大加速度、使用度の
00:08:41	継続時間、
00:08:42	を比較しております。
00:08:44	主要動の継続時間につきましては、最大加速度の0.5倍以上の振幅の継続時間をしようと継続時間として評価しております。
00:08:53	比較検討の結果、ナンバー5の1997年、鹿児島県北西部地震の5月の本震が資本距離が最も近く最大加速度で大きいことから選定しております。
00:09:04	また、衛藤ナンバー1の1997年の鹿児島県北西部地震、3月の記録については、主要動の継続時間が3成分ともに長いことから、
00:09:14	この地震も観測記録、観測率を用いた模擬地震は用いる記録として選定しております。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:09:22	18 ページについては 3 地震の時刻歴は形と、応答スペクトルをお示ししております。
00:09:31	19 ページをお願いします。
00:09:34	こちらでは 17 ページで選定しました、1997 年の 3 月の鹿児島県北西部地震の観測率を用いた模擬地震はの作成結果を、
00:09:44	示しております。
00:09:46	3 末 3 方向成分ごとに時刻歴八景音スペクトルを示しており、一番下の表につきましては LAN 水槽を用いて模擬地震はと同様に、日本電機評価による判定基準の適合度を確認しております。
00:10:01	20 ページについても同様に 5 月の方の地震についても作成結果を示しております。
00:10:08	21 ページをお願いします。
00:10:12	ここでは二つの方法により作成した模擬地震応答スペクトルを比較しております。両者の応答スペクトルは標準応答スペクトルに適合するように作成しておりますので有意な差は見られない結果となっております。
00:10:24	22 ページをお願いします。
00:10:28	22 ページから 27 ページにかけて、コメント No. 4 への回答として二つの方法により作成した、僕自身はについて解放基盤表面での地震動の
00:10:39	比較検討を行っております。
00:10:42	22 ページではその方針を示しております、これ、こちらについても 1097 回会合からの方針の変更はございません。
00:10:52	方法としましては、応答スペクトルと時刻歴や系統等スペクトルを比較対象としておりまして、応答スペクトルについては最大加速度の大きさ、それから、共振分の継続時間高さ、
00:11:05	応答スペクトルにつきましては、周期ごとの応答値の大きさと周期ごとの土地の比の大きさを比較するような形になっております。
00:11:13	その結果の結果、標準応答スペクトルに基づく地震動評価に用いる模擬地震はを選定することとしております。
00:11:21	なお、共振分の継続時間につきましては表の下の※で記載しておりますけれども、水平は 330Gal 以上、鉛直は 220Gal 以上の振幅が継続する時間として、
00:11:33	評価を行っております。
00:11:36	23 ページをお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:11:39	これは先ほどご説明しました、解放基盤表面までの審査の作成において考慮する地下構造モデルを示してございます。
00:11:47	24 ページからは、21 ページの方針に基づき、両方の解放基盤表面の地震は比較検討結果を示しております。
00:11:56	24 ページでは時刻歴派遣の結果を示します。まず、事故、地震下の最大加速度の大きさは、水平鉛直ともに欄水槽を用いた模擬地震はの方が、
00:12:07	大きく、
00:12:09	次に、更新分の継続時間につきましても同様に水平鉛直ともに、安井層もついた模擬地震かの方が長いことを確認してございます。
00:12:20	25 ページをお願いします。
00:12:23	こちらは解放基盤表面の地震応答スペクトルの比較結果になります。何水槽観測位相ともに応答スペクトルは同等であり、位相の違いによる影響がないことを確認しております。
00:12:34	26 ページをお願いします。
00:12:38	こちらは地震基盤相当面における応答スペクトルに対する解放基盤表面における応答スペクトル比を示しております。
00:12:45	こちらについても乱数位相観測位相ともに、両者は同程度であり、位相の違いによる影響がないことを確認しております。
00:12:54	27 ページをお願いします。
00:12:57	ここで 21 ページに方針として示しました。比較結果をまとめております。①の時、時刻歴派遣については乱数位相を用いた模擬地震はの方が優位な結果となっております、
00:13:09	②の応答スペクトルについては、両者が同程度なる結果となることから、標準応答スペクトルを考慮した地震動評価につきましても、乱数位相を用いた地震、
00:13:20	模擬地震はを採用することといたします。
00:13:23	続いて 28 ページからは、基準地震動の策定になります。
00:13:29	29 ページをお願いします。
00:13:31	ここでは、先ほど選定した乱数位相による模擬地震はによる解放基盤は、
00:13:38	解放基盤表面の地震、すなわち、標準応答スペクトルを考慮した地震動について基準地震動への考慮を検討します。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:13:47	まず、基準地震動の策定に関する当社の方針としましては標準応答スペクトルを考慮した地震動と、基準地震動 Ss1 の応答スペクトルを比較し、
00:13:57	いずれかの周期体で基準地震動 Ss1 を上回る場合、新たに基準地震動として策定する方針といたします。
00:14:06	その方針に基づき、標準応答スペクトルを考慮した地震動と基準地震動 Ss1 の応答スペクトルを比較した結果を下のグラフに示しております、水色で示した標準応答スペクトルを考慮した地震動が、
00:14:19	一部の周期において黒い色で示しております、基準地震動 Ss1 を上回っております。
00:14:26	したがいまして今回、標準応答スペクトルを考慮した地震動を新たに基準地震動 Ss3 として策定いたします。
00:14:35	30 ページをお願いいたします。
00:14:38	こちらは 29 ページで比較した内容を加速度軸で示したのになります。
00:14:44	標準応答スペクトルを考慮した地震動は、一部の周期体、具体的には水平では 0.02 秒から 0.3 秒付近及び 0.4 秒付近、
00:14:55	鉛直では 0.2 秒付近より、短周期側において、基準地震動 Ss1 を上回っております。
00:15:03	31 ページをお願いします。
00:15:06	こちらは今回策定した、Ss3 も含めて、基準地震動 Ss1 から Ss3 の応答スペクトルを示してございます。
00:15:15	32 ページをお願いします。
00:15:19	こちら基準地震動の加速度時刻歴は形を示しております、Ss3 を追記しております。
00:15:25	33 ページをお願いします。
00:15:29	こちらは基準地震動の最大加速度の一覧になりまして基準地震動、Ss3 を追加しているのになります。
00:15:37	34 ページから、基準地震の超過確率の参照結果についてご説明させていただきます。35 ページをお願いします。
00:15:47	ここでは震源を特定せず策定する地震動の応答スペクトルの年超過確率を示しています。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:15:56	許可で評価した内陸地殻内地震の領域震源モデルによる、一応ハザードスペクトルと Ss さんとの比較を行っており、震源を特定せず策定する地震動の年超過確率が、
00:16:08	既許可での評価結果と同等であることを確認しております。
00:16:13	36 ページをお願いします。
00:16:16	こちらは基準地震動の超過確率の参照としまして、基準地震動と既許可で評価した特定震源モデル及び領域震源モデルによる一様ハザードスペクトルを比較しております。
00:16:28	その結果、基準地震動の年超過確率が、許可での評価結果と同等であることを確認しております。
00:16:36	38 ページをお願いします。
00:16:41	38 ページでは、ご説明しました模擬地震はの作成、基準地震動の策定、超過確率の参照をまとめているページになります。記載はこれまでご説明した内容の繰り返しでございますので省略させていただきます。
00:16:55	最後に 39 ページからは今回、年超過確率の参照について、既許可の確率的確率論的地震ハザード評価結果を用いておりますけれども、
00:17:07	参考として既許可以降の地震活動による影響についてご説明させていただきます。
00:17:13	40 ページをお願いします。
00:17:17	既許可以降 2016 年、熊本地震等の地震活動による影響が、菊川の確率論的地震ハザード評価に影響ないことを、特定震源領域震源ともに確認しております。
00:17:31	まず特定震源につきましては 9 回以降、下活断層との関係が明らかな地震は 2016 年、熊本地震で二川日奈久断層隊の活動とされております。
00:17:41	二川日奈久田井日奈久断層隊は、菊川から M8.1 として熊本地震を超える規模を考慮しているため、特定震源モデルの影響はございません。
00:17:53	領域震源モデルにつきましては、気象庁データを 2022 年 3 月までの期間で更新しております、影響を確認しております。
00:18:04	菊川菊岡のときから、領域震源として垣見マップと萩原マップを選定しておりますが、両マップの影響は同等であるため、萩原マップで今日確認いたします。
00:18:16	41 ページをお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:18:20	領域ごとの年発生頻度とハザード曲線の前後比較をしておりますけれども、比較の結果、領域 N や領域をでは年発生頻度がやや増加し、ハザード曲線が大きくなりますが、
00:18:33	ハザード曲線に対する寄与が小さいためハザード曲線は既許可と同等であり、領域震源のモデルへの影響はございません。
00:18:42	茂木は基準地震動の説明は以上となります。
00:18:49	続きまして TTS31 の資料で、地下構造モデルの方のご説明をさせていただきたいと思います。
00:18:58	3 ページからコメントリストになりますけれども 5 ページをお願いします。
00:19:05	と 1163 回会合でいただきましたコメントを No. 21 として、追記してございます。
00:19:13	結局、内容につきましては機構モデルに見直した経緯について、端的な表現に見直すこと、それから、EL-118.5 線の地盤減衰に大きな保守性がある点について、
00:19:25	わかりやすい説明になるようにデータを資料に追加し提示すること、この二つを資料に反映してございます。
00:19:32	スケジュールにつきましては茂木はと同じですので説明は省略いたします。
00:19:37	まず、江藤コメント 21 の一つ目の基本モデルに見直した経緯について端的な表現に見直すことについてご説明します。
00:19:46	41 ページをお願いします。
00:19:52	41 ページの通り、会合時にはデータがなく、説明時間を要するといった旨の記載をしてございましたが、端的にデータがないということが、事実でありますので、
00:20:02	そちらの表現に見直しております。43 ページも同様な表現に見直しをしております。
00:20:11	続きましてナンバー21 の
00:20:15	説明になりますけれども、P37 をお願いします。
00:20:22	神前回審査会合では、ホームページに示しました、ボーリング内減衰測定結果から EL-118.5 から EL-200 メートルの菊川の
00:20:34	地盤減衰 $Q=100$ は十分な保守性を有するとしておりましたけれども、それに付け加えまして 38 ページ、39 ページを追加しております。
00:20:45	38 ページをお願いします。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:20:47	コメントを踏まえまして地盤減衰補正があること、118.5、EL-118.5メートルからマイナス200メートルの伝達関数で比較を行っております。
00:20:59	気候モデルの伝達関数を旧S1から参考、短周期から長周期の全周期体において、同等もしくは上回り十分な保守性を有することを確認しております。
00:21:10	39ページには伝達関数の比較に用いた物性値を示しております。
00:21:16	説明は以上になります。
00:21:21	はい、衛藤委員ありがとうございましたそれでは、今回初出の基準地震動ですね、こちらの、
00:21:30	町から確認をしていきたいと思います。基本的にはとはいっても、前回限界で、一応同じような流れで去年の12月に方針を確認してそれに応じて評価をしましたと。
00:21:44	ということなので、
00:21:47	防結果的なところになるのですが、カー。
00:21:53	ちょっと、今後申請書にもどう書いていくかって意味もあるんですが50ページなんですけど、
00:22:03	長周期における理論的手法による地震動評価及び標準応答スペクトルを考慮した地震動評価に用いる地下構造モデルってこの長い名前ずっと使います。
00:22:14	多分これ妥当、経験的グリーン関数法妥当性検証にも結局使っていて、
00:22:20	何かわざわざこれだけに用いるモデルって、名付ける意味がほぼほぼないような気もするんですけども、いや、多分1次元地下構造モデルでしかないと思うんですけど。
00:22:33	恒例多分申請書にずっとこの名前を書き続けるとかっていうと結構大変だと思う。
00:22:39	50ページの右下、右側の、
00:22:42	10ページ。
00:22:47	地震等で先に説明のあった基準地震動の策定から、すいませんやっているので、
00:23:01	これ多分1次元地下構造モデルですよねもはや巨艦をモデルを使いますとあって、別に許可のときに、この流れながらずっとどうするかにもよりますけど、
00:23:35	はい。何かこういういろんなモデルがあるかのように、
00:23:38	記載はですね、そもそもちょっと文字が文章が長いと。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:23:41	それだけで、
00:23:43	補正申請も作りづらいでしょうから、はい。
00:23:46	それはそれとしてです。
00:23:48	流れは一緒に一応乱数位相を用いた方がいいでしょう。11 ページから で、
00:23:55	これは去年の 12 月から、
00:23:59	聞いているところ。
00:24:00	で、主要動の継続時間長目設定して、模擬地震を作って一応電気協会と の適合度を確認しましたと。
00:24:09	観測位相の方もこれは基本、ここも、
00:24:14	観測の収集、
00:24:17	選定のところはもうほぼほぼ大きい
00:24:19	ていって、川内の場合は、例えば 15 ページで言うと、
00:24:24	もともとの震源近傍を 30 キロ圏内で、ある程度の地震規模のものも ともと取れてるといふかそれをもとに、もともとの基準地震動、
00:24:34	経験、グリーン関数法評価してるんで、
00:24:37	あれですけど、
00:24:38	あれ、基準地震動 Ss 作ってる、いわゆる震源を特定して作った時 てこれ、16 ページの観測記録の最後とれ使ったんです。
00:25:26	そうか震源特定しての震源が海域側にあったから結局あっち側の方、
00:25:31	観測記録を取ってきて、そうすると今回みたいな半径 30 キロマグニ チュード 5.0 以上っていうと、
00:25:39	そっかそのエリア外になるんで、
00:25:42	かな 30 キロより外になるのか、20 はそこ以上ですよ。
00:25:51	九州電力の盛でございますちょっと今手元に正確な数字ございませ んが、規模は対象になりますけど、距離の方が対象外ということになると 考えております。以上です。
00:26:02	すいませんちょっと単に過去思い出したただけなので、
00:26:06	はいはい。これは 30 キロ圏内でマグニチュード以上で選ばれた。
00:26:12	なんかこう 17 ページとかも見ていくと一応保守的な観点からといっ つ、
00:26:18	これ一、鹿児島県北西部の一つ目の本震。
00:26:26	青島県北西部の 3 月 26 日の
00:26:30	本震、5 月 13 本震、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:26:35	余震、
00:26:37	ここで2回本震があるんだな、この二つを最後選ぶと言っていて、確かに結果論からすると、LAN水槽のほうが、最後模擬地震は解放基盤のところまで上げた。
00:26:51	地震動としても採用するになってるんですけど、
00:26:55	この段階でやっぱり選びきれなくて選びきれなかったもしこれ観測位相の方は、
00:27:01	ですね、家族は多分あんまり変わらないですよこれ。
00:27:05	最後見ると継続時間で、
00:27:07	LAN水槽との関係で決着がついてるのかな。
00:27:11	結果からいくと24ページですかね。
00:27:16	これ欄水槽のほうが最大加速度687。
00:27:21	で、観測位相の方は、
00:27:24	一つ目わあ、EW方向が680何ですかねぎりぎり。
00:27:29	ただ主要動の継続時間、共振分の継続時間は大分違うということで、
00:27:35	ここの継続時間のところで、最後決着がつかない。
00:27:40	これが場合によっては標準応答スペクトルのSsが、
00:27:43	二つ選ばれましたとか、例えば最大加速度で決着がつかずでも、
00:27:49	継続時間は何水槽が長いみたいな、
00:27:52	もしですね、観測磯野が最大加速度がもっと大きくて、もう少し大きい。
00:27:56	となると、何かこれ標準応答スペクトルSsが複数選ばれた可能性も、
00:28:02	先に下原だって多分
00:28:04	最後の結果は1個に絞られましたけど、
00:28:07	今日、とは言いながらこの17ページの段階では、
00:28:13	マグニチュードこれは最後ねどう思ってくるかしら、距離もそんなに変わらないし、
00:28:19	最大加速度一応NSEWアップダウンともに、
00:28:23	一応、
00:28:24	この5月13日の方を聞いておき、
00:28:28	と言いながらも使用度の継続時間としては、
00:28:31	うん。
00:28:34	ここは最後判断だと思いますけど、
00:28:42	ちょっとここ考えだけ聞いてますけどこれもしですよ。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:28:45	鹿児島県北西部の一つ目の3月26日の地震が、これもうちちょっとその最大快速加速度がですね、50とか、もう明らかに
00:28:56	5月13日の方よりも小さかったりしたら、
00:29:00	これはどう判断したんですか。
00:29:06	それだったとしても、やっぱり継続時間が長いってこの一つの項目で、やっぱこれは、
00:29:13	観測位相と用いた茂木新川の音を選定するっていう、
00:29:17	そういう考えなんですかね。
00:29:27	九州電力の野村です。ちょっとこの部分は甲乙つけがたい場合どうするかってのはちょっと最終的な総合的な判断になると思うんですけども、
00:29:38	おっしゃられた通り最大加速度は例えば市の方で50ガルとか明らかにコース小さい場合というのは、総合的に判断して⑤の方が、
00:29:53	圧倒的に考慮すべき地震動なので、こちらだけを選びますという選択肢はちょっと判断としてあったのかなと思いますけれども、ちょっと今回につきましては震央距離、最大基礎加速度も、
00:30:04	見ても5の方が上回ってるわがってるんですけども、割と近い値をとってるっていうのもありまして、仕事の継続時間も甲乙つけがたいってところでちょっと二つ保守的に選んだという形になっております。
00:30:22	うん。ちょっとそこら辺の考え方があんまりはっきり見えなくて、
00:30:27	17ページだけ見ると、三つ項目ありますね①②、③、これどれか一つでも、
00:30:36	太字になれば、
00:30:38	以上より、ご指摘になりますとしか書いてないので、
00:30:49	そこの辺りはですね、
00:30:52	山本元
00:30:54	信用供与も損、もともとですね信用クールもそんなに、
00:30:58	変わらず、最大加速度もそこまで大きな開きがなくて、
00:31:02	その上で最後主要動の継続時間が長いんでまあ残しましたのか、いやそんなものは関係なくて、これ①から③のどれか一つでも、
00:31:11	他を上回るものがあれば、
00:31:14	それは選ぶという、そういう何か
00:31:17	っぽい書き方になってるのでいうのはページはですね。
00:31:22	これあくまで他との関係ではないですね。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:31:26	一応 3 成分で比較と使用の継続時間はといて、
00:31:33	一応比較はしてますね。何場合、ここよりとは大きく変わらないものの、長いとかっていう、そこだけは書いてある。
00:31:46	なんでなんかこうこういう書き方をされると、ナンバーワンをととは何か極力落としたかったんだなあという。
00:31:52	ふうにも見えるわけですよ。
00:31:54	いや難波ほどワイブルほとんど変わらないんですけどちょっとだけかいんです。
00:32:01	ちょっとそこの辺りですね、何か総合的に判断したっていうと、
00:32:04	これ多分人によって見方が変わってきてしまうところもあるので、ちょっともう少しどういう考えで最後この二つ残したのかってのわかる形にしてもらいたいんですけど。
00:32:18	九州電力の盛です。そうしましたと記載の方検討したいと思います。
00:34:02	はい。ごめんなさいそうそうですね。そうすると今度、保守的な観点からっていうとっていうのは何かここに入るんですよ。何か保守的という言葉をつけとけば何か複数選んでも、
00:34:14	何も言われなかつと、
00:34:16	いうようなところが見え隠れしてですね、そこも含めて、ちょっと表現考えていく。
00:34:30	何で私が先にこの保守的な観点からというところから何か見といて、
00:34:36	多分 1-01 の地震というか、(5) 3 月 26 日の方は落としたかったけど、何か理由があつて、拾ったということなんだろうなとすみません
00:34:48	保存してしまつたんですけど、単純にこの 010 今井さん、どれか一つでも一番大きいものがあれば原則選ぶということなら、
00:34:56	そこは保守的、そこ、そもそもそういう考え方自体が保守的なのであれば、
00:35:02	どういう観点で保守的と言いたいのかわかるようにしてもらえばいいと思いますけど。
00:35:06	あんまりそこを保守的っていう、
00:35:08	ことでもないと思いますけど、最初からルールがそうなる。
00:36:04	はい、よろしくお願ひします。その上ですよ。実際に作つた模擬地震は或いは解放基盤前、
00:36:14	立ち上げてっていうのは、これ計算間違えてない以上は、
00:36:17	この通りだし、それぞれ、そんなに

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:36:21	スペクトルレベルで差がない。
00:36:23	応答スペクトルレベルですね。
00:36:25	差がない 21 っていうのは、
00:36:28	それはそうでしょう。
00:36:30	次に、今度解放基盤の比較ということで、
00:36:34	これー22 ページですかねー応米印で、
00:36:38	共振分の継続時間、
00:36:40	これ限界の時にも聞いて、ただ玄海の会合資料を見ると水平が確か 300 鉛直 200。
00:36:47	今回この 330 と 220 っていうって、
00:36:51	これはどれに対して、
00:36:55	330220。
00:37:00	どのあたりから、この辺あたりつけてますかねえ。
00:37:03	前回 300200 で限界確かに LAN 水槽はもう、水平が 617。
00:37:10	観測技術の方が 600 ちょっと小さい 500、
00:37:15	70 ぐらいなんで、多分この間ぐらい取っとると、600 の半分って、
00:37:21	やっていて、仙台を見ると、確かに最大加速度値、もう少し、
00:37:27	原価よりも当然もう少し大きく、
00:37:30	なっているので、
00:37:32	詐称色がつくんだと思うんですけど、この
00:37:35	口、
00:37:39	ちょっとすみません、どの辺りから取ってきてこの 330220 という数字にしたのか、ちょっと教えてもらっていいですか。
00:37:48	九州電力の盛でございます。
00:37:50	一方、
00:37:51	こちらにつきまして今おっしゃられたように最大加速度は、半分ということぐらいということで玄海と同様の考え方をとってございまして、
00:38:00	24 ページに加速度時刻歴は形と最大値をお示ししておりますが、
00:38:06	なかなかちょっとこの閾値ですね半分ぐらいというところで、とり方はいろいろあると思うんですけど、LAN 水槽が 680 ガル程度、それから観測位相が 660Gal 程度ということで幅ございますので、
00:38:18	その大体半分程度ということで、330Gal ぐらいってことで今、
00:38:22	目安で定めてございます。
00:38:27	以上です。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:38:33	はい。
00:38:34	首藤。
00:38:37	うん。多分ね書けばいいんだと思いますよ。玄海のときには何か割とあんまり 300200 っていう数字だったんで、あんまり気にせんですけど、何かこう端数の悪い数字を、
00:38:48	各等、
00:38:49	これどうやって出したんですかってなるので、
00:38:53	何で一応 24 ページの、
00:38:55	680660680669664。
00:39:01	見て 660 よりちょっと大きいぐらいかなというのがあって、その半分だし、
00:39:09	鉛直は 455、50、401、まあまあ、
00:39:15	440、40 前後で半分にすれば、
00:39:20	はい。
00:39:24	で、応答スペクトル、応答スペクトルであまり差がなくて、
00:39:30	先ほどもうすいません先出しちゃいましたけど、
00:39:33	継続時間の方でこれは明らかに違いが出たと。
00:39:38	ということで、
00:39:46	でほぼねえ。
00:39:58	青井ちょっとすいません私いろんな見分けがうまくつかなかったのがこれ 26 ページの、
00:40:04	眼鏡取った方がいいかな、お礼 UD 方向の一番短周期があって、
00:40:10	3 億。
00:40:10	ちょこっと
00:40:12	日本上にはねてますよね。これってちょっとどれがいい。青 1 本は青なんでこれ鹿児島県奥西部
00:40:21	で、
00:40:22	もう一本、これどっちだ。
00:40:29	これを観測位相の方ですよね。
00:41:02	はい。すいませんこれは同定観測所と乱数位相が同程度ではないと別に生きる今この場にいるつもりないんですけど、この 0.2 秒、002 秒 03 秒の辺りのところで、
00:41:14	ほぼフラップになっている 1 本と、
00:41:17	最後左が上がってますよ。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:41:20	これって、あれこれ両方とも観測位相ですか。違うか。
00:41:26	一番上から水槽の一本と観測位相直せ一本でこのフラットになってるのがこれ、鹿児島県の5月の方の、
00:41:35	観測位相かな、
00:41:37	ということですね。はいはいはい。
00:41:40	わかりました。
00:41:46	そういう意味で言えば、
00:41:48	観測位相が2本あったんで、
00:41:50	はい。
00:41:51	そういうことですね。はい。
00:41:53	終わり。
00:41:55	この辺は、
00:41:57	前回と同じように清して、
00:42:06	一応、最大加速度なんですけど、
00:42:11	687。
00:42:14	680。
00:42:17	一応7があるとはいえ、
00:42:19	一応これは大きいっていう。
00:42:23	多分、
00:42:24	この680と687を比較して或いは655と、455と451。
00:42:33	を比較して、
00:42:34	27ページで最大加速度は、
00:42:38	欄スイスを用いたものよりも多い地震はの方が大きいですところ7Galとか4Gal差
00:42:46	で
00:42:47	ていて、
00:42:48	応答スペクトルの方はこれは同程度、
00:42:51	いうふうに言ってんですけど、
00:42:56	これはこんな流れ4Galという、これ大きいことスペクトルの比較はこれは同じ。
00:43:03	いうのは書いてあるんで、
00:43:07	やっぱりこれだけじゃ限界時にもうちょっと違ったような気もしたんですけど
00:43:12	ちょっと待ってください。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:43:13	靴だったっけ、限界は 617 に対して、
00:43:17	片や 570568。
00:43:21	441 体、
00:43:22	380。
00:43:25	これは確かに大きい小さいんですけど、
00:43:29	いや何ていうかこれは各社ごとの考えも少しあるんでしょうけど、
00:43:34	せんだってではもっと多分下がったところでも
00:43:37	ほぼ同じだが、わずかにとかっていう、表現をする者もあったりですね。
00:43:42	ここは、
00:43:45	一応比較してるものが 687 と 680 で比較してるんですよこれ。
00:43:53	けどもまあ 660 とかもあるから、664 とかもあるのとか、4 ですね、アップダウンは 455 と 400 っていう、ここも、
00:44:02	この差をもって、
00:44:04	低い方と、大きいなかなか平均と比べて、
00:44:08	もう販促費そのなんか二つ。
00:44:10	近隣物を見ているのか、いやちゃんと一番大きいもの同士で見て、それで大小大きい。
00:44:16	これは大きいんですという、
00:44:18	何かで、
00:44:20	そこは何か今回観測位相が二つ出たりしたんで、
00:44:25	どれに対して大きいと言ってるのかで、
00:44:27	検討してもらっていいですか。
00:44:29	ちょっと質問長くなりましたけど、
00:44:33	九州電力の野々村です。こちらにつきましてはイメージとしましては観測位相 NSEW それぞれあるとそれから観測位相についても 3 月と 5 月それぞれありますので、
00:44:44	その中で選ん水槽が一番大きいというような記載になってるかと思います。同様の考え方でトランス移送鉛直方向についても二つ、江藤観測所の方ありますのでその中で、
00:44:58	選ん水槽のものが一番大きいというようなことを示したかったというものになっております。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:45:05	他社を見ると観測位相の方、例えば NSEW それぞれあって、その大きい方と比較しますとかっていうやり方をしているところもあるかと思うんですけども、ちょっとこちらの資料、
00:45:17	としては、NSEW それぞれと比べて乱数が一番大きいですというようなことを示したかったというものになります。
00:45:37	まあ、まああの、ありますけど、どういう比較の、別に必ずしも、
00:45:41	687 と 680 で比大きいといったわけじゃなくて他のもっと小さいものも含めて、
00:45:47	大きい
00:45:48	ということですね。はい。
00:45:49	そういう、
00:45:51	説明だというのはわかる
00:45:55	はい。
00:45:57	出た。
00:45:58	基準地震動の策定が、これは Ss ワンと比較して、
00:46:04	上回りました Ss3 として策定します 29 今後、
00:46:09	どの周期体がというのも、
00:46:12	0.02 から 0.
00:46:15	2、3、
00:46:17	4 行付近、
00:46:43	気持ちがえがなければ
00:46:49	すいません同年超過なんですけれ等、35 ページから、
00:46:55	これは、
00:46:59	必ずこういう書き方をしなさいという明確なルールがあるわけではないんですけど、
00:47:07	判例の、加藤スペクトル一番上に持ってくる判例の書き方ってこれは何か、
00:47:13	川内川の方の種類ですか、何か限界だと。
00:47:17	何か判例は、一応は、ここはもう別に必ず決まりないですけど、一応ハザードスペクトルが先に書かれていて、
00:47:26	-10 のマイナス 3 乗、-40-5 乗マイナス 6 乗が、
00:47:31	その次に、
00:47:33	SS で選んでる。
00:47:36	L もいい、鳥取県西部、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:47:39	NSEW って何かその基準きちんとハザードスペクトルで基準地震動に選んだもの、別に書いても書かなくてもよかったんですけど、最後加藤スペクトルがまあ、
00:47:49	線としてなんか残ってたんですけど、
00:47:52	これは仙台の本当の%加藤スペクトル。
00:47:55	ていうのが一番最初に、
00:47:59	書いてんですけどこれは単なる、
00:48:01	趣味の話かもしれません。
00:48:06	何かあえて、
00:48:08	そうする必要もあるのかなあと、次の、
00:48:12	基準地震動との比較は、多分これ西縁限界の方も、基準地震動の Ss は
00:48:19	II III V VI で一応払うスペクトルっていう判例組んでいるので、
00:48:25	多分横に並べてみてもおんなじような、
00:48:29	色合いだったり、凡例の付け方だったりではあるんですけど
00:48:53	多分、
00:48:55	結構初期の頃だったから、最初の申請に加藤スペクトルのものが入ってたんで残ってそのまま、
00:49:02	残ってますと言ってるんで今となってあまり意味ないと思うんですけど。
00:50:30	規制庁の名倉です。
00:50:32	震源を特定せず策定する地震動の策定過程で、
00:50:37	そういうふうに考慮してるのであれば、
00:50:39	これ基準地震動を採用しなくちゃいけないんじゃないですか。
00:50:43	この比較でいくと鉛直方向は、
00:50:47	対象施設があるかないかって話はあるんだけどそれを別として考えた場合に、
00:50:53	鉛直方向の長周期側がやっぱり加藤スペクトルは、
00:50:57	フラットにしてるから一番大きいわけですよ。
00:51:01	これここ考慮しなくちゃいけないんじゃないですか。
00:51:05	即効だからここ最後まで残したら考慮しないといけないってことになるんじゃないの。
00:51:11	だから、これ残しちゃうんじゃないですか。
00:51:42	わかりました既設の名倉です。
00:51:45	SS 湾に全包絡されてるんですね、加藤スペクトルは。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:51:50	うん。
00:51:51	いや、
00:51:52	何でそういう議論になってしまうかっていうと、これちょっと私確認したいのは、今回コメント回答資料、
00:52:01	として説明してるんだけど、取りまとめ資料としての一連の説明、特定施設として、
00:52:07	これは多分申請と、
00:52:10	申請補正内容とあわせて検討するのかもしれないけど、取りまとめ資料としての、
00:52:16	資料っていうのは1通提出されるんですか。
00:52:21	スケジュール上も見えていないんですけど。
00:52:24	それがないと今の論理って説明できてないですよ。
00:52:28	だから基準地震動の策定の説明としてコメント回答なんだけど、
00:52:33	この取りまとめ資料としての全体構成、仙台とか安里泊。
00:52:39	泊とかは同時に説明してるんですよコメント回答とコメント回答というか、概要説明はちゃんと基準地震動策定或いはもう、既新規制基準適合性審査を1からやってるから、
00:52:52	これまでの説明では基準地震動の策定の内容を全部説明してるわけですね。
00:52:58	これで今回これ、コメント回答として説明してるんだけどハザード評価もその中に入れてるんだけどそもそも全体体系。
00:53:05	はどうなってるのかとか、
00:53:08	そういう説明はいつされるんですか、いつ、どのようにされるのか、一声されるのかそこら辺がちょっと全く見えてないんですけど、それはいかがですか。
00:54:15	どのぐらいです。これ、玄海もそうでしたっけ、玄海のコメント回答っていうだけで。
00:54:21	たてつけとして、
00:54:23	申請も意識した上での取りまとめ資料としての体裁はまだ出してないんですけどね。
00:54:30	前回も、
00:55:01	ちょっと関連で言うと、例えば特定せずのところは補正されるんだったら、
00:55:06	その今の例えば戸次とか、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:55:09	ガイドとかに則って補正されるとしたときに、本当にまたカットスペクトルの話が、
00:55:16	出てくるのかなってというのは、ちょっと話を聞いてて、
00:55:21	その辺の整理って、ちゃんとされてるのかなというふうに思いますので、私これ今のこの資料で、加藤スペクトルが、
00:55:30	残したいっていうんだったら別に私はこれは残してもいいのかもしれないですけど、結局最終的にこれは、今回の補正を踏まえるといえるのか知らないのかっていうのは、
00:55:41	ちゃんと整理が要るのかなっていうのを感想的に思って、だからそういうのを考えると、やっぱりまとめ資料を地震動意識としてどうするのかとか、
00:55:51	そういう整理も今後ちゃんと
00:55:55	していただきたいなということでコメントして、
00:56:06	規制庁の名倉です。
00:56:09	やっぱりさっきハザードのところ、
00:56:13	加藤スペクトルが出てきたことによって、
00:56:15	あれ、これって、基準地震動の策定として特定したものを特定しないもの。
00:56:22	あと特定しないものの中でどういうふうな、要は最終的に全部基準地震動の工法を突き合わせたときに、何を基準地震動として採用するのかっていうところをちゃんとやらないといけないんじゃないかなって感じがちょっとしてきたんですけど。
00:56:38	特定製造なんでハザードのところと比較してるんだ。
00:56:41	ていうところは完全にこれ違和感があって、
00:56:44	じゃあそれは加藤スペクトルとの崩落関係で、秋岡では、基準地震動からオミットしてますと、Ss ワンと完全包絡。
00:56:53	あれ、それって、
00:56:56	そもそも特定せずの基準地震動策定プロセスの中でそこまで本当にやる必要があるのかってそういう議論してないじゃん。
00:57:05	うんだから、だから議論してないものが出てきてるんだけど、それって議論しないといけないんじゃないのって、少なくとも、最終的に基準地震動策定の中でどういうふう、
00:57:15	どういうふうな、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:57:18	プロセスを踏んでどういう結果が出てきていてどういうふうにスクリーニングアウトされているのかということも含めてちゃんと説明。
00:57:29	されてないので説明しないとけないんじゃないかなというと、
00:57:33	思ったんですけどね。
00:57:35	そこら辺は、
00:57:37	今回説明がないんですけど説明されるんですかね。
00:57:45	では説明。
00:57:46	しない。
00:57:48	そこら辺はちょっと定かではないので、これ、今回締めるんだらう、閉めれるんだらうか、限界の方は1回閉めてしまっているのかな。
00:57:59	臭くてとしては、
00:58:00	いや、玄海の方は、当時のそのまとめ資料を見ても、
00:58:05	その Ss の策定基準地震の策定っていう項目で、Ss 案を作りました。断層モデルで、
00:58:12	二つ選びました。
00:58:14	そのあと2確かに特定製造を選ぶときに、何か、
00:58:19	比較 SS 案内と比較して、
00:58:22	これは上回ったから選ぶっていうプロセス抜きで、何か上記に加え、選びました丸しか書いてなくて、あんまり比較した形跡がなかったんで多分加藤スペクトルの話が、
00:58:33	まとめ資料上出てこない。
00:58:36	仙台の特に許可のまとめ資料を見ると、特定せずとしての Ss 策定っていうページをわざわざちゃんと作っていて、そのときには確かに加藤スペクトルと、
00:58:47	SsII。
00:58:49	Ss ワンと選びました SsII と。
00:58:53	加藤スペクトルがなんか載ってはいる。
00:58:57	ただ加藤スペクトルが Ss3 を下回ってるからではなくて、L も以外ですねの Ss を上回っているんで、Ss II にしましたっていうページで書かれていて、
00:59:07	ちょっとそれがテンロクにどう書いてるかっていうのをまた見なきゃいけないんですけど、
00:59:13	うん。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

00:59:15	いやなんかねこれで使ってるのかなとほんといつていう、ちょっとそれが、
00:59:21	ものすごく変化があつて、
00:59:23	特にそれが一番上に書かれたら何だろうなというのがそこだったんですけど。
00:59:38	既設の名倉です。
00:59:42	こちらも少し、
00:59:45	今までの案件の実績とかそれからあとは、
00:59:51	今後の扱いとかこちらも少し良く見ないといけないなどは思つてるんですが、
00:59:57	とりあえずこれを今回ぶちまけるのも、うち負けると言っちゃいけないですけど、会合で指摘してもあまり全体の結論に対しては影響及ぼさないとと思うので、
01:00:08	おそらく今後立て付けをどうするかつていうところ。
01:00:12	に大きく関係するところですので、
01:00:16	このイメージをやっぱり早めに確認しておくことが、全体の進み具合とかこれを進捗をです、
01:00:26	に悪影響を及ぼさないという意味で重要だと思つますので、取りまとめ資料をです、いつ、石野段階に出すかつていうのはちょっと今後よく考えておいてください。
01:00:38	玄海のところの取りまとめ審議の取りまとめの私のレジメをちょっと見てみたんですけどいじめとか取りまとめで発言したことですね、これをちょっと確認してみたんですけど。
01:00:50	いろいろとまだ説明性の観点で、
01:00:55	少し不十分な点については、会合で指摘した上で記載内容を適正化し、取りまとめ、まとめ資料に反映すること。
01:01:04	いうふうにしてるので、まとめ資料に反映してもらつうんですけど、
01:01:12	会合で、
01:01:14	やるかやらないかつていう意味では、おそらく、ちゃんとコメント回答で論点について、確認できているので結果については影響ないものとして、
01:01:24	審査会合はあくまでもその論点に関して、重点的に確認をしているという位置付けだと思つますので、取りまとめ資料をいつ出すかつてのよく考えてくださいと。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:01:36	おそらく、
01:01:40	安定性解析。
01:01:42	例えば限界であれば安定性解析を今重点的に、いろんなチェックやっていると 思うんでそれを最優先してるとは思うんですけど、
01:01:51	それを出してからでも構わないので早めに、
01:01:55	取りまとめ資料の意味ないん出していただくというふうに、
01:02:01	それがいいのかなと思いますので、
01:02:04	川内玄海玄海川内について、
01:02:07	取りまとめ資料をいつ出すかっていうのをちょっと検討してこちらの担 当とすり合わせをしていただきたい。
01:02:15	思います。
01:02:16	一応それでよろしいですかね。
01:02:18	すいません規制庁鈴木です。はい。一応、
01:02:22	先週かなラップアップの介護のラップアップのときに、
01:02:27	ちょっと何か位置付けよくわからない、スケジュール上なんかニジュウ マルって書いてあって、そこが多分まとめ資料とかを社内の中で、
01:02:35	何か品証に社内の品証チェックに回すようなタイミングですみたいなの が、
01:02:40	前回ですかね、バックアップの時に、
01:02:42	あったので、多分まとめ資料っていうものはそれ以降なんでしょうけ ど、今回はこの標準応答スペクトルの Ss をどうするのか。
01:02:52	というところでの今回の会合での説明かと思いますけど、
01:02:56	規制庁の名倉ですと、そうですねこの間ちょっとして
01:03:01	面談で示してもらった補正ドラフト作成ニジュウマルってなってる補正 対応のところ、
01:03:07	おそらく補正対応をするときに、取りまとめ資料が先にできてるわけ ですよ。
01:03:13	普通は。
01:03:15	ということはこの二重丸っていうのは取りまとめ資料の完成時期を表し ていて、
01:03:21	その時期だとう取りまとめに取りまとめ資料はできているし、
01:03:27	補正イメージもある程度検討できていて、技術的な観点での私たちの補 正の確認。
01:03:38	補正イメージの確認ってのは補正前にも、それは、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:03:42	技術的観点から私たち確認行為を入れているんですけども、
01:03:46	その段階が近くなってきているということなので、
01:03:52	取りまとめ資料をまず出してもらってそのあとに、技術的観点での補正内容の補正イメージの確認。
01:04:00	というものをそのあとにやらしてもらおうと。
01:04:03	ということでいかがですかね。
01:04:09	九州電力の本村でございます。取りまとめ資料の件、今おっしゃった通り、進めて参りたいと。
01:04:22	はい。
01:04:24	て出しません。
01:04:25	上で、
01:04:28	ハザードこれ許可のときの、
01:04:32	ハザードスペクトルとの関係では、年超過確率は同程度で、
01:04:37	いうところが 36 ページまでで、まとめは、
01:04:42	てにをはは、
01:04:44	あるかもしれないですが、
01:04:47	Ss3 として策定しました。
01:04:50	今回 39 ページからでいい。
01:04:54	これは三国間で参考ということでしょうけど、これはす。
01:05:00	前回玄海の会合ですかね、元気なんか、仙台については、すでに FSR の届け出は、
01:05:08	もうや、対応してます、玄海は今後の届け出の時にみたいなのが、確か会合での、
01:05:14	説明ぶりでは、
01:05:16	そういう話だったと思うんですけど、なんでこれはもうすでに FSR で、
01:05:21	過去にスクリーニングして、
01:05:23	営業も確認している内容も今回資料にしてきたっていう、そういうことで、
01:05:30	九州電力の盛です。
01:05:33	おっしゃった通り 1000 限界のコメントを踏まえまして、仙台の方の影響確認結果ということでお示ししております。FSAR の方でお示しました内容から、
01:05:45	本資料ではちょっと気象庁データですね、確認期間を

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:05:52	の時期がちょっと違しまして、FSARの方はちょっと届け出の時期上の文の時期を2017年ぐらいまで、
01:05:59	の、
01:06:01	データを用いてまして、今回猪野田宮の最新のとり得る、
01:06:06	最初の期間ということで、2020年3月までの、
01:06:10	データを活用しまして、今日の動けと確認してございます。ちょっとそこがFSARと、土佐委員になります。
01:06:21	これはだから玄海のときの会合の説明ぶりだと。
01:06:30	仙台の安全す方の安全性向上評価の届け出の中では熊本地震を全く期間を踏まえてデータをふやして、
01:06:39	も、
01:06:40	地震ハザードのレベルはそんなに変わらないという確認ができて、
01:06:45	いまして、これからだけど、近々届け出の限界の方にも取り込んでいくってそんな、
01:06:51	話だったんですけど。
01:06:53	ちょっと待ってくださいね。そうすると、
01:06:58	これわあ、
01:07:00	だから一応、
01:07:03	データとしては2017までを、
01:07:08	FSARの中では、
01:07:11	調査機関にしていたんで、熊本地震が2016年なんで、
01:07:15	入ってきてましたと。
01:07:17	領域震源モデルの方は気象庁データの方、今回新しくなってるんでここは
01:07:24	千田目フェーズでやるは何回か届け出しますけど、直近のものでもいわゆる2017年までのデータってことですね。はい。
01:07:32	リーダー。
01:07:34	の上で、
01:07:37	特定震源モデルは二川日奈久断層体。
01:07:42	で、特定し、震源モデルを組んでるのでそこには影響しなくて、
01:07:48	領域震源の方は、
01:07:51	表町のデータ、
01:07:55	にも、
01:07:57	定期許可で、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:07:59	領域会社とか、萩原君。
01:08:03	ハザード曲線は同等。
01:08:06	これは熊本地震関係ない。
01:08:09	ですよ。
01:08:11	関係ないですよ。
01:08:12	で、その下の気象庁データ更新で、これがから仙台のFSAR上は2017年までで、
01:08:20	年度なのか、年なのかわかりませんが、2017年3月7日、2017年度、
01:08:27	の3月末なのかわかりませんが、
01:08:29	気象庁データの更新後まで入れると。
01:08:34	ふうん。
01:08:35	これが次の、
01:08:38	いつも萩原に、
01:08:41	入れる期間か。
01:08:43	そういうことか。萩原マップの中で、
01:08:46	のJNをの領域に入れるデータをどこまでの期間をとりますかで、
01:08:52	既許可のときには2011年の12月までで、一応仙台はFSRでこれを2017年の3月、2018、
01:09:02	17年度末、2018の3月かわかりませんが、教育機関まで取ってFSARで一旦確認はしていて、今回の説明ではこれを2022年の3月までにしましたと。
01:09:14	今、5以上のところは、
01:09:19	最大マグニチュード。
01:09:22	最小01。
01:09:26	これで、
01:09:29	ですか。すいません規制が変わるわけですね。
01:09:33	こちらがちょっと言いたいことは何かっていうと、最初にストレートに言ってしまうと、
01:09:38	これ、
01:09:39	差分として最終的な結果として影響がないっていうことは、
01:09:45	ここに書いてある説明で大体把握はできました。
01:09:49	ただし、
01:09:51	説明の仕方を工夫してもらえませんか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:09:55	具体的に言うと、
01:09:58	何が。
01:09:59	どう変わる。
01:10:01	と、どのように影響するのか。
01:10:03	要はそういう説明の順序にしてもらえませんかと。
01:10:07	だから要は、データとして更新すべきものってのはどういうものがあるって、
01:10:14	それがどういうデータに変更になって、
01:10:18	その結果として何がどういうふうに変化影響するのか。
01:10:23	という順序で説明をすると、おそらく41ページのところの内容がもっと先に出てくるんだと思いますけど、そういうふうな形で、まず、方針として、
01:10:35	書いてもらった上で、何がどう、どう変わるので、最新の知見として何が反映しうるものとして考えられて、どれを反映しないといけないのか。
01:10:46	ということを最初に言った上でそのデータを示して、それに対して、
01:10:52	プロセスとしてどう効いてくるのか、結果としてどう効いてくるのか。
01:10:57	という説明をちゃんとしてもらいたい。
01:11:00	思います。
01:11:01	そそうしないと、追跡できない。
01:11:05	何がどう変わったかもとらえられないし、
01:11:09	それを、それがどういうふうの結果としてプロセスに影響してプロセスの途中経過として、
01:11:15	年発生頻度が変わるわけです。
01:11:18	その結果をすべてハザード曲線に落とし込もうとしたときに、
01:11:25	どういうふうな差が出るのか。
01:11:27	というそういう見方になるわけで、
01:11:29	ここら辺のちょっと説明の仕方を工夫してもらわないと。
01:11:33	一言で説明できない。
01:11:35	はい。
01:11:36	ということでちょっとここら辺を、
01:11:38	わかるようにしてください。
01:11:46	九州電力の森です。承知しました。ちょっと記載の方が
01:11:50	ご指摘踏まえて見直しを行いたいと思います。以上です。

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:11:56	すいません。です。まずはそういう意味。
01:12:00	ちょっとそれですね、40 ページのこの流れを説明ながら見ていくと、
01:12:05	まず、特定震源モデルが、これはまあ、あの領域じゃないので、まあまあこういうことなんでしょうと。
01:12:14	で、領域震源モデルの方が、岩原垣見の、
01:12:18	許可の時のですよ、ハザード曲線が同じなんで、
01:12:22	これは今後どのような地震がどこで起ころうと思う。萩原マップの曲線で影響確認すれば、
01:12:29	いいんだというのは、これは何でそういうことになるんです。
01:12:33	いや例えばですよ、領域側はもう全く一緒ですと、だからどこで地震が起ころうか、用度は全く一緒ですとかっていうことなんですかね。でもそれだったら二つのマップなんか作らないですよ。
01:12:46	何か降雨期、
01:12:47	当時は、
01:12:49	萩谷だと垣見で一緒だった。でもこれって、
01:12:53	未来永劫一緒なんでしたっけっていうと、
01:12:57	そういうことでもないんで、そこら辺がですね何か急に何でこっちだけ見れば良いのだろうとって後ろを見ていくと、41 ページがあって、多分、このどこの領域な、熊本地震が入るのは N 領域、
01:13:14	かな。
01:13:15	どれだ。
01:13:15	方は海ですよ、J はもっと。
01:13:18	宮崎とか、後がない領域 n に入る。
01:13:22	引っかかるのかな。
01:13:24	その領域へのところが、
01:13:28	明日、
01:13:29	ちょっとそこら辺がですね、あんまり今回熊本地震のとかって謳っておきながらあんまりだからそこら辺が、
01:13:38	特にも含めてない。
01:13:40	失礼なんでないんですよ。
01:13:42	で、多分図の 4 も、多分ここの領域で見ると変わるんだけど最後全領域を足し上げて、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:13:53	領域ごと、ここの領域ではなくて3DVの全三つの領域を足し上げて最後委託するから、そこまでは影響がないけどここの領域で見ると、それは多少のこの
01:14:05	カード化は、それに変わるんですよ。
01:14:09	ただ全領域で3領域足してみると、違いが出てこなかったってことなんですよ。そこも結論としてはですけどね。
01:14:18	規制庁の名倉です。
01:14:21	この40ページの説明は、
01:14:23	ハザード評価をやったことがある当事者と、ハザード評価の体系を理解しているハザード評価の体系を作った人。
01:14:32	これを見ればわかります。
01:14:35	わかりますけど、普通の人わかりませんこれ。
01:14:39	どういう評価をしてどういうことやってるかっていうこともう少し日本はして説明しないと。
01:14:45	わかんないですね。
01:14:47	だから特定震源の方で、最大規模と、あと重要なのは活動ですよ。
01:14:53	仮想度のデータが今回変更になってるわけではないってことですよね。
01:14:57	だから最大規模の履歴更新というものがあれば影響するんだけど、今回そういうところはないので特定震源には影響しませんと。
01:15:06	あと影響しているのは領域震源のところの、
01:15:09	要はビーチのところですね。
01:15:12	これがやっぱり余震本震を含めて情報としてデータが入ってきてたくさん入ってきてるので、これによる影響っていうのはやっぱり少なからずというか、若干あるのでこれに対しての影響評価、
01:15:24	が必要になりますと。
01:15:26	ということになるので、ちょっとそういった説明をちゃんとしないと、これはやってる人だけがわかってる説明になっちゃってるから、ちょっと説明の仕方を工夫しないとイケないのかなというふうにちょっと思いました。
01:15:44	はい九州電力の明石でございます。ご指摘ありがとうございます。すいません。のページ構成、要は変わりませんということを端的にシンプルに説明するよというふうに、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:15:57	コンパクトにまとめさせたのは私ですので、ちょっとその意図がちょっと、
01:16:03	結果に走りすぎてたなと今ちょっと反省しております。要はこういうステップでこういう評価をしてこういうところが変わるんだからこれは変わるんだけどこれは大丈夫だこっちはこうだということがちゃんと
01:16:15	ご理解いただけるように、ちょっと順を追って説明するようにちょっとここは丁寧に
01:16:20	修正をいたします。
01:16:22	規制庁名倉です。
01:16:24	昔の意見聴取会であれば、
01:16:27	高田先生に説明するのであれば、よく知ってる。
01:16:31	神田さんとか高良さんとかに説明するのであればわかったってなるんだけど、高嶋さんとか、
01:16:38	他の分野の先生に説明しようとしたら、
01:16:42	意味がわからんと怒られると。
01:16:44	そういうふうな状況になると思うので、
01:16:47	そういう意味で少し、
01:16:49	丁寧な説明をするようにしてください、因果関係がわかるようなですね。はい。
01:17:00	あとすいません 41 ページでもう 1 回教えてもらいたいんですけど。
01:17:04	これが変わったのは、
01:17:06	2020、2011 から 2022、十年間分の気象庁のデータ渡して期間を延ばしましたって言って、
01:17:13	結局、
01:17:15	最大規模が更新されたのは領域小高湖海域で、
01:17:20	何か M7.1 の地震が、何かありましたっけ。
01:17:27	菱洋だから、何か、完全に海ですよ。
01:17:34	すいません九州電力の盛です。江藤、こちらは 2015 年に
01:17:39	薩摩半島西方沖の地震、M7.1 の地震が発生しております、そちらを反映してございます。
01:17:45	はい。
01:17:46	浜半島清、峰。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:17:52	そうですね領域 N が限元なんだけどこれもともとそうか、本心は特定震源で見ていって、領域震源の方で見ると、この M6.9 を更新するものじゃないから、
01:18:04	最初の最大も更新されないわけです。
01:18:07	最初はもはやもう更新しようがない。
01:18:10	Jの方は、当然更新がなくて、
01:18:13	そういうことですかと。
01:18:16	ビーチは、これは何か期間が延びたから、コール。
01:18:22	3.68 製品。
01:18:29	はい。ちょっとこの辺りちゃんとわかるように、
01:18:32	説明を加えてくれるということではあるので、はい。
01:18:40	そうなんですよね。なんか多分原野他とかの体系が何も書いてないまま、急になんか 41 ページ。
01:18:47	アドオンだけ出ると。
01:18:51	普段、
01:18:52	年超過確率の説明の中で順番にそういう説明があった上でこの 41 ページを見るって、
01:18:58	機械はするんですけど、
01:19:00	はい、わかりとにかく、
01:19:03	限界度同意を
01:19:07	ハザードカーブは変わらない、いいと。
01:19:09	いう。
01:19:10	当社は十分だというのはわかりましたけどね。はい。
01:19:15	ちょっともう 1 回確認。
01:19:19	あたりです。
01:19:20	ちょっとマイナーコメントなんですけど、この 41 ページのこのハザード曲線がね。
01:19:26	結局一番こう決まってる JA の領域とすべての領域っていうのが、赤が 2 本、黒が 2 本重なってて、何かですね。
01:19:35	この辺をちょっと判別できるような工夫をしてもらえと思うんですけども、重なってるから一緒なんだっていう種市長で終わるんじゃないかって、
01:19:47	その何となくの関係が、
01:19:49	わかるような線を補足するのか。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:19:52	色を変えるのもなんかちょっと違うのかもしれないですけど、
01:19:58	判別できたらできた方がいいかなというふうに、
01:20:01	思いました。
01:20:07	九州電力の盛です。確かにちょっと線が、かなりもう近似してますのでなかなか判別しにくいかなと思います。ちょっとうまくちょっと表現できるかちょっと
01:20:17	なかなか難しいところかもしれませんが、ちょっと検討してみたいと思います。以上です。
01:20:58	すいません明石ですこども、すいません私がこれもあの予報重ねてんだらそれはわかるよってということでこれでいいって私言っちゃいましたので、そこはちょっと丁寧に説明をいたします。
01:21:50	だということで基準地震動の策定の方はですね、これよ。
01:21:55	会合で今回の新しい許可の地下構造モデルを用いた標準応答スペクトルの方の地震動評価結果と Ss の策定。
01:22:05	その資料としてははい。
01:22:08	わかりました。ちょっと残りの時間で、
01:22:13	地下構造モデルの方ですね、これちょっとその資料の立て付け位置付けなんですけど、
01:22:20	何かページをめくっていくと、何か今回のコメント回答方針と書いてあって、何かコメント回答方針、例えば7ページ8ページですかね、ここ見ていくと、
01:22:30	このコメント回答はこないだ聞いたことがあるようなコメント回答だなというふうに、
01:22:35	見えるんですけど。
01:22:38	これは、
01:22:40	前回、6月30日の
01:22:43	コメント回答資料の一部リバイス。
01:22:47	という何か位置付けて、
01:22:50	何ですかこれ、そもそも、
01:22:53	何かまたコメント回答方針とかって書いていて、1から何かまたこれを見始めてしまったんですけど、
01:23:01	九州電力の本村です。すいません位置付けとしましてはですね、6月30日の会合資料からのリバイスということで、修正ということで、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:23:14	という位置付けで書いて作っておりますので、ちょっと前回のコメント回答、コメント回答したわけですが、それがちょっと残ってるという。
01:23:23	状況になってます。はい。
01:23:27	なんで、多分それ何も書いてなくて確かに5ページを見ると、なんかコメントの数が増えていて、
01:23:39	6ページにあって、ただ何か今回何を説明したいのか、何を講師、どういう位置付けの資料で何を説明したいのかわなく、いきなりコメント回答方針といって2月のコメント回答です。
01:23:52	始まるから、
01:23:53	ということですけど。
01:23:56	一つ、多分二つあったうちの片方は基準地震動の策定の時でも良いので、やはりもう少し伝達関数とかを使ってデジタル
01:24:08	もう少しデータを使って説明してくださいよというのと、もう一つは今後まとめ資料とか審査資料って最後のところには、経緯も含めて、最後の記録として残されるんでしょうからそのときには、
01:24:20	その適正化ですね言い回し、回りくどい言い回しを適正化図ってくださって言うのがあって、
01:24:26	別に後者は、必ずしも今回でなくてもいいんですけど、今回これ一応りバイスという形で、何か説明をされるようなので、
01:24:36	何かあんまり行為。そうすると再度改めてなんか眺めて見ていくっていうよりは、
01:24:42	まんま、
01:24:43	必要なところだけ説明してあとはまとめ資料作りましてもいい気がしますけどね。でも一応、
01:24:49	全体流れで追えるようにということで前回の、
01:24:53	コメント回答資料。
01:24:55	をそのまま付けられていると。
01:24:57	いうことなんですか。別途ここ変えたって言いました。
01:25:01	達しただけですよ。
01:25:05	2ヶ所あって1点目がなんで別に今回でなくてもいいんですけど、最後経緯としてっていうところで、
01:25:12	これは参考1ですか、に書いたの。
01:25:15	そういう同じような言い回し方向回か出てきてるとは思いますけど、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:25:19	参考1でしたっけ、確か経緯と、
01:25:22	と。
01:25:23	おっしゃる通りで参考1の41ページの一方で、の後の記載。
01:25:30	が、回りくどい言い方になってたのを、直接的な地盤物性のデータがないという記載に直しているのと、43ページ。
01:25:41	について最後のなお書きの記載ですねその部分を修正しているというところが参考①の修正点になっております。
01:25:52	はい。
01:25:53	で、41ページですた三つ目のポツがあって、ここに何か説明時間がかかりますとかっていうのを書いてあったんでそれ理由全然違いますよねというのは、
01:26:03	私とのやりとりの中でそれは、
01:26:05	そのあとで、多分これ最後議論のまとめのところだったと思いますけど、
01:26:11	この経過措置期限をコールしとかっていうところ。
01:26:16	これ経過措置期限を考慮しなんていうのはこれも別に今始まった話が出て、経過措置期限なんてもともとあった話で、
01:26:23	もともとの準備不足な話で、なんか今このタイミングで、経過措置期限を初めて考慮したわけでも何でもないよねっていうのは、他のそういうやりとり最後議論のまとめの方でもあったと思うんですけど。
01:26:35	そういうところも含めて、ちょっともう今一度ですね、この1、123、この三つのポツのこの記載で、
01:26:42	かつ、その後、
01:26:43	すぐ矢印ですね。
01:26:45	以上を踏まえてって、
01:26:47	データがないことを踏まえて、
01:26:50	安全裕度の向上を図るべきとの観点に立ちて、
01:26:55	何か安全裕度の向上を図るべき観点に立つんだったら、そもそも、
01:27:00	最初から許可のモデル使ってくれよかった話であって、これ多分許可モデルを使ったことによって最後安全裕度は向上されるんですけど、
01:27:08	ちょっとそこのですね、
01:27:10	話が繋がっていかないと、矢印を跨いで、
01:27:14	今一度ちょっともう一度ですね、
01:27:17	前回の議論のやりとりも、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:27:18	踏まえて、見返してもらって、
01:27:21	その何か経過措置期限や期限がある話なんですよとか、確かに安全裕度向上を図るべきって聞こえはいいんですけど、
01:27:28	何かそういう政府を最後に持ってきて、上に実態のことを書いていったりすると、
01:27:33	何か話が繋がってこないの、
01:27:35	あともう1回落ち着いてですね、まず2日にかけて、ちゃんと工期、経緯、
01:27:42	最後に、何で評価モデルを持ちます。
01:27:45	一つ繋がるようにしてもらいたいんですけど、
01:27:50	てことわかりますかね。
01:27:51	はい。九州電力の本村です41ページのところ、時間がかかるっていうところをちょっと削除しただけでありましたのでちょっとここをですね、もう1回三つのポツと下も繋がってませんので、ちょっとそこら辺ちょっと検討したいと思います。
01:28:16	はい。確かに前は、何か1週間か2週間か1ヶ月か2ヶ月かわかりませんが、
01:28:21	何かこう必死に考えて何か説明すれば、
01:28:25	その時間が足りないんですというような書き方でさすがにそれは違うでしょうということだった。
01:28:30	うん。
01:28:32	かなあ。
01:28:33	そこ、片方のことだけ書いてあるからかもしれないですけどね現申請モデルはこうだ。
01:28:39	一方で評価モデルにすると、こうだ、
01:28:44	何か比較対象もなく何かいきなり最後安全裕度向上するべくっていうのもあるので、何かもともと元4月か5月初めぐらいのときには、何か事情、
01:28:54	何か両者との関係というか、
01:28:58	同じような、何か改善度合いとか保守でさらに保守性があるみたいなの、何かそういう関係性も書かれたような気がするんですけど。
01:29:06	うん。
01:29:07	ちょっともう1回落ち着いて考えてみてください。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:29:20	そうだから、データがないと、何が困りますかといったときに、説明時間が困りましたんでそれは違うでしょというのが前回あったんで、
01:29:29	データがないと、じゃあ、
01:29:32	見直したモデルの何か形妥当性の検証をちょっと言い方ある、いろいろあるのかもしれない波ができない。
01:29:39	多分そこで詰まるわけですよ。
01:29:41	トンづまりになっていった。
01:29:51	できないとか、何かある。
01:31:01	その上でもう一つは、
01:31:03	これは今回、資料に足されて、
01:31:09	言ったのはすみません、どのページだったっけな。これは持つ前か。
01:31:14	辺の、
01:31:17	言ってて、
01:31:18	妥当性、
01:31:20	これ。
01:31:24	これ何ページだった。
01:31:25	19 ページ。
01:31:30	そっか、19 ページで、
01:31:35	応答はわずかに下がりと。
01:31:41	地盤減衰測定結果。
01:31:43	で、強度ゴシツ低を有している。ここはだから変えてないのかで補足 1 飛ばして、
01:31:52	補足 1 が、
01:31:56	37。
01:31:59	38 と 39 が足されたと。
01:32:14	確かにこの 3 時間 39 度は 1 回ヒアリングで見たことがあるんですけど、
01:32:33	一方、
01:32:38	そうですね前回の会合とかでの周りとは離脱すると。
01:32:42	広い意味では、同等、ほぼほぼ同等もしくは上回っていて、短周期側で大きなこうしてマクロで見るとですね。
01:32:49	一方で、
01:32:53	周期 0.10. 2 秒のところでは、一部の地震の一部の、
01:32:57	一部の周期体で上回っていて、それについては、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:33:02	もうすこもっと深いところまで全体を見てみると、
01:33:05	そこで保守性が積んであるので、そこはカバーできるでしょう。
01:33:09	問題がない、多分そういうロジックだったと思うので会合でのやりとりは、
01:33:14	その上で、
01:33:16	最後確かに Q 値の数字が 1 桁ほど大きいですっていうのがあるんだけど、
01:33:21	もう少し具体的な見せ方を考えてくださいねと。
01:33:25	一応その時に少し付け加えた部分もあるんですけどただ施行 118.5 から -200 って、
01:33:33	これ速度層としては一層なので、
01:33:36	伝達関数出すと、いわゆるその問題になってる周期が当然そう伝達関数が 1 を超えることはないんですよ。
01:33:46	減衰のしやすさ低さっていうところでの SURC けど、何か伝達関数が限界のようにですね。
01:33:52	ああいうところまで入れると、問題となっているような伝達関数がぼんと 1 以上ははねて、
01:34:00	より伝達しやすくなります。
01:34:02	減衰しにくくなりますっていうのは、もちろん見せれるんですけど、この範囲、
01:34:07	でも、
01:34:08	他伝達関数として問題となっている周期で、
01:34:14	はねるのは出せませんよね。
01:34:16	ってことわかりますか、限界だと、確か。
01:34:21	その部分の周期は伝達関数で見ると、
01:34:25	ここは伝達関数が大きくやはり 0 点。
01:34:28	3、4 だったかな。非常上下ですよ。入れましたよ。
01:34:32	ただ、川内の場合は残念ながらこの範囲だけで見ると、単に減衰の紙にしやすさしにくさだけしか、
01:34:40	出ないので、
01:34:42	もう伝達関数を別に 1 超えてないですよっていうなそういう見方もできるわけです。
01:34:47	なんでねもう他に、もうそこはこれはこれとしてですね別に結構なんですけど、

※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:34:52	もう少し全体でっていう何か工夫も考えてこられるのかなと思って、6月30日の会合から、
01:34:58	しばらくあったんですね。
01:35:00	その辺はやっぱり何もない。
01:35:04	このQ値とかですね、その次新開の間の下のもう少しQ値の保守性っていうその延長線上だとかこういう見せ方しかないんでしょうと。
01:35:12	モデルとしてその周期体で問題がないんだというのを、
01:35:16	その主体も含めてですね短周期体で問題がないっていうのを補強するやり方としては、
01:35:22	いろいろ、もし、他の見せ方が、これ以上ないのであればもうこれしか出てこないでしょう。
01:35:29	根井。
01:35:31	今日、下から上まで行きよかたい。
01:35:35	何かマシン整理の
01:35:37	申請時のもので問題となってましたけど、
01:35:40	これは下から上まで、
01:35:42	全体の伝達関数で見ると、
01:35:45	許可に戻すと、というそれは単に申請時のものと今回の元の比較なんで、これ多分直接的な、さっきの19ページのところの直接の答えではないんでしょうけど、
01:35:56	教えて見せ方もあるのかもしれないちょっとそのものを見ないと何とも言えないですけど
01:36:02	あとはちょっと限界の方でもう1通りですよ。説明は尽くした上で、最後一応そのブロックEバージョンの方で、室、一応震源特性伝播特性ある程度配慮した。
01:36:16	一応最後、
01:36:17	見ると、
01:36:20	矛盾ない。
01:36:22	結果となっております。というのも、最後限界では、
01:36:26	全体という意味ではですね、堀野
01:36:29	適法上を説明した上で妻子ほかの知見でも問題がないんだっていう見せ方もしているし、
01:36:36	いや何かこうの工夫の仕方はあるような気もするんですけど。
01:36:48	3830基を1回見てるんでこれはこれで、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:36:52	五つ。
01:37:00	九州電力の本村でございます。38 ページ 39 ページの件ですけど、我々もちょっといろいろ考えてはみたんですけど、今ちょっと考えられるものとして以前お示ししたもののぐらいしかちょっと今、
01:37:15	ないかなというふうには考えてます。
01:37:19	ていうちょっと状況ではございます。
01:37:31	金名倉です。
01:37:32	以前ヒアリングで、
01:37:35	示していただいた内容っていうのは、
01:37:38	6 月の中旬の資料の 15 ページぐらいだと、14 ページから 15 ページぐらいだったと思いますけど、
01:37:45	そこは
01:37:47	この 19 ページに相当する資料の中に、
01:37:52	-118.5 メーターから-200 メーターまでの、
01:37:56	伝達関数をスペクトルと、ある程度こう並べて書くような、
01:38:01	形にしてたと思うんですけど、今回、なお書きで、この本体資料から何で外したのかなと思ったんですけど。
01:38:09	こちら辺位置付けを変えたのはどうしてですか。
01:38:13	最小限の変更にとどめるために 19 ページそのままにして、
01:38:18	後ろにくっつけた。
01:38:19	非常に気をつけてる内容。
01:38:21	の中で説明するようにしたっていうことだけの変更したっていう、最小限の変更にとどめるということでそうしたんですか。
01:38:29	なんで、この本体資料に以前は、ヒアリング資料で入ったんだけど、
01:38:33	今回そこまで行かなかったのかなってのはそこはちょっと不思議だったんですけど。
01:38:39	はい。九州電力の本村です。最小限というところもあるかもしれませんがけど位置付けとして、19 ページでは、減衰が保守的だということを、話をもともとしてまして、
01:38:51	そのあと補足 2t で Q 値の大小関係っていうところが、
01:38:56	会合資料ではあったかと思えます。で、その Q 値のこの大小関係、保守性っていうところを、Q 値の値そのものじゃなくて別の見方をしたらどうかというところで、

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:39:07	のコメント等、認識してましたのでそれで補足の①の Q 値の後に、伝達関数というところで、そのバックデータじゃないですけども追加のデータというところで作らせてもらったというちょっと位置付けでございます。
01:39:34	規制庁名倉です。あくまでもやっぱり既存の、
01:39:38	旧値に余裕がありますというところの説明に追加したので、だから本体資料の方は、逆にほとんどいじりませんでしたということなのかな。
01:39:49	うん。
01:39:51	わかりました。
01:39:53	ここら辺ちょっと、
01:39:55	説明の仕方としては以前の、
01:39:57	資料の方が、直接的でわかりやすかったのかなっていう気がちょっとしますけど。
01:40:03	うん。
01:40:04	これは単に感想とか所感ですけどね。
01:40:09	あとは、この川内だからこそ、
01:40:14	みずから獲られた知見との整合性をちゃんと説明をすると新聞も含めて、
01:40:23	不整合はないということの説明が、フルされることによって、都心部の保守性をさらに
01:40:30	補完するっていう意味合いも出てくると思うので、ここら辺は、今回の資料に反映する、しない。
01:40:37	というのはちょっとお任せしますが、少なくともまとめ資料、
01:40:42	2 反映する際っていうのは、ちゃんとみずからやったことの効果も整合性として入れといた方がいいんじゃないかなというのはちょっと思いました。以上です。
01:40:56	九州電力の本村です。今回、初回以降ですねられた知見ということで観測記録だとか、PS 検層、
01:41:06	とかですね、等さっきありましたブロックインバージョンとかありますので、取りまとめの段階の資料についてはですね、ちょっと補完的にといいますか、説明性向上という形で示すことができると思いますのでちょっとそこら辺ちょっと検討したいと。
01:41:22	思います。

- ※ 1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※ 2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:41:33	はい。前回での会合での反映点っていうと一応2ヶ所、2ヶ所、2点ですね。
01:41:40	になるので、
01:41:42	はい。
01:41:44	そんなところですかねちょっとなので、今回の会合で、どういう設営をするかっていうのは、冒頭の導入部の
01:41:52	書き方ですよ。
01:41:53	いきなり、前回のコメントは、
01:41:56	前回会合で聞いたはずのコメントがぼんと出てきて、
01:41:59	聞いてみないと、
01:42:02	いやこの部分的なところのコメント回答ってか更新なんです。アップデートなんで、
01:42:08	それもわからないし、
01:42:09	初めから位置付け変えとかないと、
01:42:13	アップデートするのはちゃんとまとめ資料で持ってこいよというふうにもなってしまいますので、
01:42:17	ちょっとちゃんと位置付けをはっきりとさせてください。規制庁の名倉です。
01:42:22	この資料を最初に見たときに、
01:42:26	メガテンになりました。
01:42:28	メガテンになって30分ぐらい頭真っ白だったのかな。
01:42:31	何が言いたいかっていうと、
01:42:34	これって今回の資料提出、あれ。
01:42:37	同じ資料が出てきたんだけど何か、今回、
01:42:41	うん。長野さん間違えたのから持ってくるのは、大庭川下のかな。
01:42:45	て思っちゃったんですね。
01:42:49	やっぱりここら辺はちゃんと説明を、
01:42:54	する流れになってないと、介護デイもやっぱり同じような状況になって、少し主観的な見方になってしまう可能性があるんで、というのであれば、
01:43:05	もう素直に、前回コメントはこういうふうなコメントでした。
01:43:09	これに関して、前回資料の、
01:43:13	バージョンアップをしました。
01:43:15	で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:43:17	そのままつけますと、後に、
01:43:20	だけれども書いたところのページ、
01:43:23	変更したページは主に2ヶ所ですよね、2ヶ所プラスアルファなんでそこだけ右上に、
01:43:29	どういうふうに変更したのかっていうのを右上にわかるように書いておくとか、
01:43:34	そうすると、この資料は、リバイズをかけたコメント回答ですと、その変更箇所については、そんなに多くはないんで、
01:43:45	こことこことこだけを変えました。
01:43:48	最後に、今後取りまとめ資料、まとめ資料、
01:43:54	青野際には、どうするとか、
01:43:59	今回のコメントもちゃんと踏まえた上でしっかり取りまとめをしますという趣旨の内容を書くとか今後の話です。
01:44:06	そういうふうなポジティブなカチマイ、ポジティブな説明の仕方とあと印象。
01:44:14	ていうものがやっぱり重要かなと思いますんで、
01:44:17	そこはよく考えてやってください。
01:44:21	以上です。
01:44:24	九州電力の本村です。
01:44:27	ちょっと位置付け、説明の内容の流れとかですね、ちょっとそこら辺、
01:44:33	不十分だったと思いますのでちょっとそこら辺整理して、導入部分をわかるようにしたいと思います。以上です。
01:44:44	はい。
01:44:45	はい。
01:44:46	そろそろどうですか。よろしいですか Ss も含めて全体含めて、
01:44:51	鳥取よろしいですか。
01:44:54	すけれ
01:44:55	ば、何か九州電力の方から、
01:44:58	質問大丈夫ですかね。
01:45:01	上分田嶋さんどうぞ。どうぞ。
01:45:08	エンチャーの田嶋です。すみません。
01:45:12	9、9ページについて、少し確認なんですけど、もう少しちょっと早めに、
01:45:20	確認すればよかったなと思ったんですが、9ページの一目の、

※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。

発言者による確認はしていません。

※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:45:27	コメント回答方針のところ、一番最後の2、
01:45:33	案周期体において観測記録を大きく上回り、大きな保守性を有するというふうに、既許可モデルのことを書かれてるんですけども、
01:45:44	10 ページを、ここに書かれて 10 ページを見ると確かにそうなっているんですけども、
01:45:51	何ですかね、後ろの方の参考、参考でしたかね、参考の②、50 ページ以降の比木共管モデルっていうのを、
01:46:03	見ていくと、
01:46:05	何ていうんすかね。ものによって、50。そうですね。成分とか、
01:46:13	地震によっては、
01:46:16	例えば 53 ページとかを見ると、
01:46:20	そこまでの観測記録と同同等ぐらいのものも結構たくさんあるので、
01:46:27	この辺りは、
01:46:28	この保守性を有する欠陥っていうような記載か、適切な結果になってるっていうような記載結果と、
01:46:39	照らし合わせて、
01:46:41	この観測記録を大きく頑張りというところが、正確なんじゃないかなというふうに、
01:46:47	ちょっと思ったんですけども。
01:46:49	この辺り、何ですかね自立に即した、
01:46:53	修正では、どちらかという、木内の方の減衰のその安重期間に効く浅部の地盤の元吊りの設定というのは補助として、
01:47:05	を許してる設定をしてはいると思うんですけど、この辺りの完遂ロゴあまりをところは、ちょっと結果に対応してない。
01:47:16	表現な気がするんですけども、そのあたりちょっといかがでしょうか。
01:47:24	何か今回のよ。佐瀬規制庁で今回のような、いう話でもない気がします。ただし、今言ったように幾つか、ほとんどフラット重なったようなものもあって、おそらくこの
01:47:36	短周期を行って観測記録を大きく上回りというのは、すべての地震のすべての方向で、すべからくということではなくて、全体系的な傾向として 20 地震全体で見て、
01:47:48	短周期において観測記録を大きく上回るもの、大きく上回るものが多いのか、多くの地震で、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:47:56	ということなのか。
01:47:59	うん傾向があっただカラー20 地震全体の結果からすると、全体の傾向としては大きな保守性を有するっていうことを多分、
01:48:09	ないのか、何かすべてにおいて、
01:48:12	10 ページで一番説明しやすいやつだけ見せて、いや他見ると、
01:48:18	全部じゃないじゃないか、全部って。
01:48:21	言ってるように見えたじゃないかっていうことだと思うので、こういうのを
01:48:26	多くのアウトラインはいいのかもしれないんですけど、表現ぶり、いいかなとは思いますがね。田嶋さんおっしゃる趣旨は私もよくわかる。
01:48:37	すべてかよって言われるとそうじゃないですよっていう。
01:48:40	はい。九州電力の本村です。田嶋さんおっしゃる通りですね、物によってはというか地震によっては方向によっては、同等のものもありますので、我々としてはすべて大きく上回って保守的だということは、考えてなくて鈴木さんもおっしゃられましたけど全体の傾向としては、
01:48:59	こういう傾向があるということで、ちょっと記載してたところでございます。以上です。
01:49:13	すいません九州電力の室野々村です。今のちょっとところについて確認させていただきたいんですけども、
01:49:20	今のもともと9 ページの記載自体は大きく上回る傾向がありというのが多分正しい表現ではあるんですけども、ちょっと前回の会合で、ちょっと
01:49:32	ご指摘されてなかった部分でもありますのでちょっと今の資料の出し方とすると前回会合からのご指摘を踏まえたコメントの
01:49:43	を受けたりバイスという形で出すとなると、次の会合で、その記載を修正するイメージになるのかそれともまとめ資料の段階でこう修正していくイメージになるのかっていうのをちょっと、
01:49:58	はい。いや、今のね、電話やすでに、自分たちでもう今の表現がこなれてないと思うのであれば、それは別に直して、ぜひ次の会合のときに、
01:50:09	ちょっと前別に、次の会議ではあえてことさら説明する必要もないのかもしれないんですけど、
01:50:15	防球かあまり大きくなっていうのは、

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。

01:50:17	全体の傾向としての話なんでそこも合わせて表現を見直しましたってポジティブにやればいいし、いやな会合で言われないと、そう直しませんって直せませんとかってそういうものではないので、
01:50:30	もうすでに軸してるんだそうだし、いやこの今の表現でこれ越すこれでいいんですと思ってるんだったら、このままにすればいいだけの話だ。
01:50:39	すいません。承知いたしました。
01:51:53	はい。
01:51:55	他よろしいですか。
01:51:58	ただ、田嶋さんさっきありがとうございました他、特になければこれで終了したいと思いますけど。
01:52:08	はい、他にないですありがとうございます。はい。
01:52:12	とではですね一応これは九州電力のスケジュールだと今月に、整数。
01:52:20	策定まで会合後というスケジュールで出てますので、
01:52:24	ちょっと本日ですかね、いくつか言いましたけど少し修正の方をして、
01:52:30	また提出を受けたらですね、次もう1回ヒアリングをやろうかなと思っ てますんで、はい。
01:52:37	よろしくお願いします。特になければ以上で終了します。はい。
01:52:41	ではヒアリング終了しますお疲れ様でした。

- ※1 音声認識ソフトによる自動文字起こし結果をそのまま掲載しています。
発言者による確認はしていません。
- ※2 時間は会議開始からの経過時間を示します。